

壁を越える！ 限界を越える！ 自分を越える！

独学サポート塾【BEYOND】

合格体験記

1ヶ月で模試の得点率*が50%未満から75%に上昇
第1志望の私大にセンター受験と一般入試のすべてで合格！

※ マーク模試における受験科目の合計点の得点率

氏名：伊藤さん（女性・20歳）

学年：2浪

入塾時期：10月

入塾時の状態：

ほぼ毎日アルバイトをしていたこともあり、

1日の平均勉強時間は1～2時間。

偏差値は40くらい？（模試を受けていなかったため自己申告）

菅原 第一志望合格、おめでとうございます！

伊藤 ありがとうございます（笑）

菅原 第一志望の大学にセンター利用と3回受けた一般入試のすべてで合格できたなんて本当にスゴイですよ。念願の合格を手にして、今どんな気分ですか？

伊藤 もう、本当に嬉しいです！パソコンで合格発表をみたときは、受験番号を入力したら「合格」って出たので“よし！”っていう感じで。そのまま画面をみてたら、ジワジワと喜びが湧き出てきました。電話でも一応確認しましたね。

菅原 それは良かったです。僕が受験生のときには大学に行って合格発表の掲示板を確認しました

が、伊藤さんは大学まで遠いでもんね。ご家族はどうですか？

伊藤 すごく喜んでくれてます。「良かったね」って何度も言われました。

菅原 僕も合格の連絡を受けたときは、本当に嬉しかったですね。今日は、伊藤さんがどうやって合格をつかんだのかを聞かせてもらいたいと思います。

振り返ると、高校時代は
もうちょっといろいろやっておけば
良かったかもしれません

菅原 伊藤さんは、どんな高校生活を送っていたんですか？

伊藤 部活は文芸部でした。運動部とは違って、あまりガンガンやるような部じゃなかったですね。もともと週2回しかなかったんですけど、途中からあんまり行かなくなりました。部活より勉強をしようかなみたいな気持ちがあって。

菅原 それはビックリですね。勉強をしたいから部活に行かなくなったんですか？

伊藤 本が好きで文芸部に入ったんですが、部の活動は読むことより書くことのほうが多くて。そしたら、私はあまり書きたいことがないのに気が付いたんですよ。他の子はみんな長編小説とか書いているんですけど、私は“やるか”と思って何も浮かばなくて……。みんな楽しんで書いてるのを見てたら、だんだん、私は作家に向いてないんだろうなって。今はいろんなジャンルの本があるって知っているんですけど、当時は、作家と

言えば小説だろうみたいにならなくて。

菅原 なるほど。

伊藤 それで、他にやりたいことがなかったから、とりあえず勉強を頑張ってみるかみたいな感じでした。中学くらいから宿題が増えたんですよ。その頃から、本を読んでもよりも宿題やらなくちゃみたいな気持ちはありました。

菅原 そう思えるのはスゴイですね。僕は陸上部にいたんですが、宿題どころかテスト期間中もずっと走ってるような人だったので（笑）

伊藤 ははは（笑）

菅原 ただ、本を読むのと書くのは全然違うっていうのはよく分かりますね。僕も書くのがきついときがありました。深夜にファミレスに行って、そこで一気に書き上げるみたいなことをよくやってた気がしますね。ところで、それだけ宿題が出てたっていうことは、伊藤さんの高校はいわゆる進学校だったんですか？

伊藤 まあ、なんとか進学校でした。でも、市内でとか、狭い範囲ですけど。周りには勉強一筋っていう人は少なくて、みんな部活をやったり普通に楽しんでましたね。女子高だからやっぱり元気な子が多かったけど、私はおとなしい方だったので、ちょっと馴染めない部分もあったり。振り返ると、高校時代はもうちょっといろいろやっておけば良かったなあとも思うんですけど。

菅原 女子高の雰囲気は分からないですけど、たしかに、女の子は仲良しのグループを作ったりとかで大変なところもありそうですね。

伊藤 そうですね（笑）

勉強した気になってただけかも
勉強計画を立てたりはしてました
そういうのが好きだったので

菅原 高校の中での学力はどうだったんですか？

伊藤 高校に入ったときのテストは、やっぱり下の方でしたね。みんなできる子なので。ずっとそんな感じが続いたんですが、2年生の後半くらいから、勉強をやり始めてだんだん上がっていきましました。

菅原 それは、ちょうど文芸部に行かなくなった時期と重なるんですか？

伊藤 そうですね。

菅原 2年生から勉強を頑張れると、一気に伸びますよね。3年生になったら、“もう受験生だし勉強するか”みたいな人が増えてくるんですが。

伊藤 私は受験のためっていうより、まず目先の定期テストで良い点数を取ってみたいっていう気持ちがあった気がします。

菅原 なるほど。普段から定期テストのために頑張れるというのは素晴らしいですね。僕は一夜漬けしかできなかったの。

伊藤 あはは (笑)

菅原 ちなみに、その頃は普段どれくらい勉強してたんですか？

伊藤 ひたすら宿題やってました。でも、例えば土日に10時間とかは全然やってないですよ。

菅原 はい。そんなに勉強してる高校2年生はなかなかいないと思うので大丈夫ですよ (笑)

伊藤 そうですね (笑)

菅原 3年生のときはどうでしたか？受験生になって変わりましたか？

伊藤 うーん、そのときも10時間は絶対やってないですよ、休日でも。いや、6時間もやってないような……。これじゃ、あまりやってるとは言えないですね (笑)

菅原 なんか、どんどん自信がなくなっていってような (笑) 今思うと、そんなにやってなかった？

伊藤 今思うと、勉強した気になってただけかもしれなです。よく勉強計画を立てたりとかはしてたんですけどね。そういうのが好きだったので。

菅原 その後、頑張ってくれたとは思いますが、残念ながら現役のときは不合格でした。この間、塾とか予備校とかには通わなかったんですか？

伊藤 行かなかったです。

やるときはすごいやるけど、
やらないときは全然やらないという
感じでした

菅原 一浪をスタートしたときから「サポートA (実名は伏せさせていただきます)」を受けたんですよ。

伊藤 はい。そうですね。4月に一回面談に行つて、その後に通信コースを始めました。

菅原 サポートAは、いつまで続けたんでしたっけ？

伊藤 一応、一浪の11月までやってみました。でも、勉強自体ができていたかというと、うーん…。

菅原 そうですね。塾とか予備校、または受験生向けのサービスで伊藤さんが受けていたのは、サポートAだけですね。

伊藤 はい。

菅原 じゃあ、ほとんど独学で、しかも自宅で勉強をしていたってことになりますね。

伊藤 そうですね。

菅原 たしか、コンビニのアルバイトも、浪人のときにスタートしてましたよね。これも一浪のときからでしたっけ？

伊藤 そうです。7月からですね。

菅原 1浪の7月から2浪の1月まで続けていたということは、1年半も続けてたんですね。もう、そのコンビニのオーナーさんには合格の報告をしましたか？

伊藤 いや、まだしてないです。

菅原 ぜひ、報告してあげてくださいね。絶対に喜ぶと思うので(笑)

伊藤 そうですね(笑)

菅原 じゃあ、浪人のときは主に自宅で勉強をしながら、サポートAを受けつつ、バイトもやりつつという生活をしていたということですね。この間は、勉強はできていましたか？

伊藤 うーん。やるときはすごいやるんですけど、やらないときは全然やらないみたいな感じでした。

夜になっても寝られなくて……
明け方ようやく眠くなってきて、
寝て起きたら午後だった

菅原 一浪のときの勉強量は、どれくらいでしたか？

伊藤 一番やったときで、8時間ですね。でも、1日だけ。サポートAでは4月に先生から勉強計画が出されて、その通りにやろうとしたんですけど、なかなかうまくいかなくて……。

菅原 ステップAでは課題というか、勉強計画みたいなものが出されて、それをこなさなくちゃいけないってことですか？

伊藤 そうです。「10時間勉強するまでは、あまり休憩を入れなくて」と言われていたので、バイトから帰ってきて頑張るんですけど、8時間が精いっぱいみたいな。いくら頑張っても10時間は難しいので、そのうち全然やらなくなっちゃいました。

菅原 バイトの後は結構疲れますからね。僕も自宅浪人のときはバイトをしてたので、よく分かります。

伊藤 そうですね。でも実は、バイトを始める前

のほうが、もっと勉強できてなかったんですよ。生活リズムがバラバラでした。夜になっても寝られなくて……。明け方によく眠くなってきて、それで寝て起きたら午後だったみたいな（笑）

菅原 今回の伊藤さんをみていると、信じられないような話ですね。

伊藤 そうですね。バイトが早朝だったおかげで、生活リズムが整いました。

菅原 ただ、それでも勉強は長続きしなかったんですよ。当時の問題点というか、そのときうまくいかなかった理由は何だと思いますか？

伊藤 うーん……。今思えば、目標が定まっていなかったとか。あとは、そもそもやる気がなかったとか。

菅原 その目標というのは、具体的に何のことですか？

伊藤 将来やりたいこととか、行きたい大学とかですね。

菅原 なるほど。そもそもやる気がなかったっていうのは、目標がないところからきている部分もあるのかもしれないですね。その状態は、【BEYOND】に入るまで続いていたんですか？

伊藤 そうですね。

どうにかしたいっていう気持ちと「個人に合わせたサポート」が良いなあと思った

菅原 ここからは、2浪に入ってからのお話を聞かせてください。伊藤さんは10月にスタートした第2期【BEYOND】に申し込んでくれたわけですが、【BEYOND】はどうやって知ったんですか？

伊藤 ブログとメルマガ。あとは本ですかね。

菅原 さっき、やる気がなかったと話してくれましたけど、僕のブログやメルマガはそのときも読んでくれていたってことですか？

伊藤 そうですね、はい。

菅原 完全にやる気がない人は、いろいろ調べたりして僕のブログにたどり着かないと思うんですよ。なので、伊藤さんの中で“何とかしなくちゃ”っていう思いはあったんでしょうね。

伊藤 はい。そうだと思います。

菅原 【BEYOND】を知るのと入るのはまた別物かなあと思うんですが、伊藤さんはどうして入塾しようと思ってくれたんですか？

伊藤 一番は現状をどうにかしたいっていう気持ちと、【BEYOND】の案内を読んで「個人に合わせたサポート」というのが良いなあと思ったからですね。それと、菅原先生がメールで発信している内容にも共感を覚えたというのもあります。

菅原 ありがとうございます。伊藤さんが申し込んでくれたときのメッセージを読んだとき、どうにかしたいっていう気持ちが強く伝わってきましたね。伊藤さんにはぜひ入ってほしいと感じたのを今でも覚えてます。

伊藤 はい（笑）

目標が定まったのが一番大きい
志望大学だけじゃなくて
その先のやりたいことが決まった

菅原 【BEYOND】に入ってみての印象はどうでしたか？

伊藤 最初は緊張してたんですけど、すぐに慣れてきました。一番いいなって思ったのは、先生の意見も言いつつ、私も思っていることを結構話せて、それを聞いてくれることですね。前のサポートAのときにはなかなか意見を言えなくて、それは良くないなって思ってたので。

菅原 うーん。たしかに、お互いの意見を言い合って進めていきたいっていうのはありますよね。勉強してるのは、伊藤さん自身ですから。ただ、自分の考えを言うのがあまり得意じゃないっていう人もいます。なので、伊藤さんが考えていることを伝えてくれたのは、僕もとても嬉しかったですね。

伊藤 そう言ってもらえて良かったです（笑）

菅原 伊藤さんは、【BEYOND】をどのように活用していましたか？

伊藤 私にとっては、日々のブログのやりとりとか、相談会でのやりとりが特に役立っていた気がします。ワークシートは全部送ろうと最初は意気込んでたんですけど、たぶん1枚か2枚、送れなかったような……。

菅原 そうでしたね。さっきのサポートAのときにも話してくれましたけど、一度、計画についていけなくなると、次にやり取りしにくくなっちゃ

うじゃないですか。でも伊藤さんの場合、一度ワークシートを出せなくても、次に引きずらなかったのがとても大きいなあと思いますね。

伊藤 先生が最初に「強制じゃないから出せないときがあってもいい」って言ってくれたので、気持ちラクになりました。

菅原 受験生もいろいろと大変ですからね。伊藤さんの場合はバイトもしてたので、使える時間に限りがあったでしょうから。

伊藤 私はたぶん不器用なんですよ。バイトを始めたときも、うまく勉強と両立しようと思ってたんですけど、バイトのほうに偏ってしまって……。お母さんが「良くいえば凝り性」だと言っていました（笑）

菅原 最初のうちはバイト一辺倒になっていた時期もあったかもしれませんが、【BEYOND】後半はバイトと勉強を見事に両立していましたよね。

伊藤 ありがとうございます。

菅原 伊藤さんは【BEYOND】がスタートした頃は勉強時間が0に近い日もあったなかで、12月になってくると7～8時間で安定していました。

伊藤 はい。

菅原 これはものすごい大きな変化だと思っています。一体何が伊藤さんを変えたのだと思いますか？

伊藤 やっぱり、目標が定まったのが一番大きいと思います。志望大学だけじゃなくて、その先の本当にやりたいことが決まりましたから。

ふとワークシートを振り返ったら、心の奥底にある「やりたいこと」に初めて気がついた！

菅原 将来やりたいことが明確に決まったから、それを実現するために勉強をしたくなったということですね。

伊藤 そうですね。

菅原 たしかに、将来やりたいことを考えるのは大切ですよね。ただ正直、それってすごい難しいことだなあとも思うんですよ。僕自身も就職活動直前まで将来やりたいことが分からなかったの。伊藤さんのなかで、目標が定まった、やりたいことが決まったきっかけはありますか？

伊藤 いろいろですね。ずっと行きたい大学とかやりたいことで悩んで、ふと、ビジョン明確化シートを振り返ったときに、菅原さんからの「健康面への意識が強いですね」というコメントを読んで、初めて自分が健康に関心を持っていることを気がつきました。

菅原 心の奥底にあった「やりたいこと」に気付けたというわけですね。

伊藤 はい。また、一浪のときに自分が体調を崩していたことも思い返して、健康に強い関心を持つようになりました。それで調べてみたら、健康心理学という分野があるのを知って、勉強してみたくまりました。

菅原 ワークシートへのコメントから、大きな気付きを得てもらえたのは嬉しいですね。健康心理学を勉強することは、伊藤さん自身にとっても、

良い影響がありそうですね。

伊藤 そうですね。あとは、先生の本にも「偏差値じゃなくて、やりたいことや将来につながることで進学先を選んだほうが良い」という言葉もありましたよね？この言葉も大きかったです。

菅原 それは嬉しいです。ありがとうございます。

伊藤 こちらこそ、ありがとうございます（笑）

将来目指すところが決まって、何かのスイッチが入ったみたいに勉強ができるようになった

菅原 目標が決まり、やる気が高まったことで、自然と勉強時間が増えてきたということですね。

伊藤 はい。何かのスイッチが入ったみたいに勉強することができるようになりました。

菅原 ただ、勉強時間が増えたからといって、なかなか成績が上がらないのが受験勉強というものじゃないですか。多くの受験生が、そのステップでも苦しんでいるんですね。伊藤さんの模試の成績を振り返ると、センタープレで結構ショッキングな結果だったと思うんですよ。

伊藤 はい。

菅原 具体的な点数でいうと、受験で使う科目の総得点で50%未満でした。これのときって、判定は……？

伊藤 E判定でしたね。

菅原 50%未満だと、そうですね。その状態から、1ヶ月後のセンター試験で75%を取れたわけじゃないですか。何がここまで点数を伸ばさせたのだと思いますか？

伊藤 将来目指すところが決まったのが大きかったです。たしかセンタープレのときには、違う大学を第一志望にしていたんですよね。その後に、健康心理学を見つけたんです。

菅原 そうでしたね。それまでに行きたいと思っていた大学は、それほどやる気を高める目標にはなっていなかったってということですか？

伊藤 そうですね。

解けない問題があったり、あと1ヶ月もないとか考えたりして不安になったこともあった

菅原 受験全体を考えたときに、特に困ったこととか、スランプみたいなものはありましたか？あとは、後悔していることなど。

伊藤 一番困ったのはやる気の出し方ですかね。あと後悔してるのは、高校のときにもっとオープンキャンパスに行っておけばよかったなあというのはあります。

菅原 なるほど。大学の選択肢が少なかったってことですか。

伊藤 そうですね。あんまりというか、全く行かなかったの。高校には、しっかり考えてオープンキャンパスとかに行ってる子もいれば、なんとなく選んでみたいなのもたくさんいました。私は、

何となくの部類で。まず国立大とか、資格が取れる所とか。もっといろいろ考えてみていれば良かったかもしれません。

菅原 たしかに、伊藤さんにとっては志望校を選ぶというのは、困ったことの1つとして挙げられるかもしれないですね。それが決まってから、グンと前に進み出したわけですから。ちなみに、やる気の出し方については、どうやって乗り越えましたか？

伊藤 さっきは12月に目標が定まってからやる気が出たって話しましたが、ずっと100%できていたわけじゃなくて。例えば、解けない問題があったり、あと1ヶ月もないしとか考えたりして不安になったこともあります。でも、将来やりたいことを考えだしたら、やる気が出てきた気がします。あとは【BEYOND】のサイトやテキスト、本を見たりですね。やり方を変えたりもしました。

菅原 やり方を変えるっていうのは、何のやり方のことですか？

伊藤 勉強のやり方というか、復習の仕方ですね。復習するタイミングとか、もっと回数を増やすとか、そういうことです。

もし自分だけで勉強していたら、赤本に書いてあることを鵜呑みにして、今の勉強が無駄だと考えていた

伊藤 あと、いいですか。

菅原 もちろん。なんですか？

伊藤 私のなかでは、日本史が一番伸びたと思ってるんですよ。現役のときから、ずっと微妙な点数だったので。その状況を変えるのにつながったのは、菅原先生のアドバイスなんです。たしか12月に日本史の一問一答が1回終わったとき、「2回目をやるのは無駄な気がする」みたいな相談をしたと思うんですよ。

菅原 はい。覚えてますよ。

伊藤 そのときに先生が「今は1回やって分かる問題と分からない問題を仕分けした状態なので、分からない問題に絞ってもう1回やってみてもいいんじゃないか」というアドバイスをしてくれたんですよ。それで、一問一答を繰り返しやって別の問題集に移ったら、結構解けたんですよ。実は、赤本に「一問一答はセンターにはあんまり役に立たない」みたいなことが書いてあったんで、2回目をやっても無駄な気がしてたんですね。

菅原 そんなことが書いてあったんですか……。

伊藤 無駄とまでは書いてないけど、センター試験は長文の正誤問題とかがあるから、一問一答だけだとあんまり意味がないみたいな。先生のアドバイスのおかげで、演習に移ったときにスムーズに進んだんです。本当にありがとうございます！

菅原 僕が繰り返しやった方がいいんじゃないかって話しても、伊藤さんがアドバイスを受け入れられなかったら伸びていないわけですからね。そこは、僕も本当にありがたいなって思っています。

伊藤 たぶん自分だけで勉強していたら、赤本に書いてあることを鵜呑みにして、自分のやり方が無駄なんだって考えちゃっていた気がします。

大学では、勉強だけにならずに
セミナーや留学に行ってみたい！
そして、いつかは本を書くのが夢

菅原 ここからは、今後のことを聞かせてください。大学に合格してから、いろんな将来を思い浮かべてくれていると思います。大学に入ったらしたいことはありますか？

伊藤 大学の勉強もそうなんですけど、勉強だけにならずにいろんなことにチャレンジしていきたいですね。高校までは勉強だけをやって、読みたい本があってもそれは無駄みたいに考えちゃっていたので。それが、かえって良くなかったのかなあとと思います。受験のために勉強しなくちゃみたいな切羽詰まった感じだったので。

菅原 目的を持って勉強をしていきたい。それから、いろいろなことをしていきたい、というわけですね。

伊藤 そうですね。留学とかもしてみたいです。あとは、セミナーとか勉強会にも行ってみたいです。あまり人と会うっていうタイプじゃないですが、やっぱり行ってみたいと分からないことがたくさんあると思うので。

菅原 僕も同じタイプなので分かります（笑）僕はセミナーをやる側ですけど、人前に立つのはちょっと緊張したりもするので。でも、それ以上に得られるものがたくさんあるんですよ。他に、将来の夢はありますか？

伊藤 本を書きたい（笑）

菅原 それは良いですね。書きたいテーマは？

伊藤 前は本というと小説とかしか思い浮かばなかったんですけど、今いろいろな本を読んで、なんでもありなんだなあって分かりました（笑）

菅原 そうですね。

伊藤 実用書とか。もしかすると、そういうほうが書きたいのかも。今は全然浮かばないですけど。たぶん、菅原先生が書いているみたいな本かな。

菅原。本を書いたら世界がガラッと変わるので、ぜひチャレンジしてほしいですね。都合の良いときにでいいので、僕の勉強会などに参加してもらえれば、また出版に向けたアドバイスもできますよ。これからも、ぜひやりとりを続けていきましょう！

伊藤 嬉しいです（笑）ありがとうございます。

いろいろ調べたり体験することで、
将来やりたいことが見えてくる
それが、やる気の源になる

菅原 最後に、これから受験に立ち向かう後輩たちに向けて、何かメッセージをもらえますか？

伊藤 自分の経験上、早いうちから、ちょっとでも大学に接して調べてみてほしいですね。今はやりたいことがなくても、少しでも調べるうちに、ちょっとは見つかってくるかもしれないですし。あとは、評判や偏差値とかじゃなくて、やりたいことで大学を選んだほうが良いのかなあって思います。

菅原 なるほど。やりたいことがない人も、調べてくれば少しずつ見えてくると。

伊藤 きっと、そうですね。私も元々はやりたいことがない人だったので。

菅原 やりたいことを見つけるのって、なかなか難しいですよね。やりたいことを見つけるきっかけとしては、どんなことが思い浮かびますか？

伊藤 いろいろ調べたり体験したりするところからスタートするのもかもしれないですね。いろんな体験を、知識を得てみよう。それが、勉強へのやる気につながりました。

菅原 なるほど。今日はとても濃いお話を、本当にありがとうございました！

伊藤 こちらこそ、ありがとうございました。

菅原 大学に行ってから、ぜひ頑張ってくださいね！

伊藤 はい。先生も、これからも受講生のサポートを頑張ってください。私が頑張れっていうのも変ですけど（笑）

菅原 伊藤さんの合格に大きなエネルギーをもらいましたからね。このエネルギーを他の受験生にぶつけさせてもらいますよ。それでは、本当にありがとうございました。これからも、よろしくお願ひします。

伊藤 こちらこそ、よろしくお願ひします。

※ 個人情報保護の観点から、体験記に登場する団体名・個人名は実名を出すことは控え、すべて仮名とさせていただきます。ご容赦ください。

◆ 独学サポート塾【BEYOND】の特徴

1. 完全少人数制で一人ひとりに合わせたサポートを実現！
2. 3ヶ月で「夢を叶える力」を身につける集中指導！
3. サポート継続率94%の高い満足度！

◆ 受講生の声

マーク模試で、第一志望の大学の
受験予定者の中で1位を取れました！

早起きなんて無理だと思っていましたが、
今は毎日、朝から頑張っています。

模試の点数が
100点以上も伸びました！

自宅浪人生にとって、
他の人と話せる機会は貴重ですね

勉強報告へのコメントが
毎日の励みになりました！

私が現役生のときに、
【BEYOND】があれば良かったのに

今後の人生を変える
おおきなきっかけになりました！

前は勉強から逃げていましたが、
合格したい気持ちが強くなりました！

模擬面接の対策をしてもらったおかげで、
AO入試で第一志望に合格しました！

◆ 独学サポート塾【BEYOND】の詳細は、こちらをご覧ください

<http://beyond-myself.net/beyond-intro/>

不明な点などがございましたら、info@beyond-myself.net までご連絡ください。